

茨城高校は自分をいろいろ成長させてくれたと思います。長期休みに出される課題はどれも適切で、解けないながらも苦勞して解くことで解答を導き出す力が養われました。まず、1年生最初の夏休み数学課題は「場合の数」を100問解いて提出する課題で、自分は数学自体嫌いではなかったのですが、確率が苦手な夏休みいっぱいを使って100問の様々な問題を解きました。苦勞した分何となくパターンが分かってきて、その後の確率の問題に少し苦手意識が薄らいだ気がしました。2年生冬休みに出された国語の現代文は記述が80字とか120字とかこれも自分にとっては苦手な問題ばかりで、解答と合っていない記述とかいっぱいしてしまったのですが、文章の構成を考える力はつきました。3年生に出された世界史のすごく細かい用語の問題集も丁寧に取り組むことで自分の理解不足を補ってくれました。部活動に入っていたので、課外は3年生の部活動が終わるまで受講しませんでした。受験直前の文系数学の課外はすごく役に立って、私大を国・英・数で受けたので、私大の文系数学対策になりました。結果的に受けた私大は不合格でしたが、数学は結構できた感覚があつて、不合格でも悔いはなしでした。自分は、英語を学びたくて上記の大学を受けましたが、茨城高校の高いレベルの英語の授業は本当におすすめです。1年次にDMMと組んでのネイティブとの英会話授業など今思えばもっとやっておけばよかったと後悔しています。英作文も、まず和文英訳から始まり、丁寧に説明されるので復習すれば必ず力がつきます。周りができる人が多いので、時々自信がなくなりましたが必死でついていきました。受かったのが偉そうなことを言っていますが、模試の判定はD判定やE判定が多く、最後まで志望校合格の自信はありませんでした。担任の先生に2次試験への取り組み方など指導していただきました。特に厳しい戦いだけ最後まであきらめないように励ましていただいたことが本当に励みになりました。

部活動は弓道部に3年間所属しました。週4回の練習でしたが、やる時はみんなが集中して取り組むので、充分練習できたと思います。また、一貫生と友達になれて、先輩後輩関係なく仲が良かったです。でもちゃんと先輩後輩の節度はありましたよ。勉強との両立を考えた体制だったので、部活動との両立で悩んだことはありません。高入生は基本的に高校入学して初めて弓道を始めるので、同じ仲間と県武道館を借りて自主練習をしたことなどもありました。それから、毎年6月に行われる文化祭はレベルが高く、みんなで協力してクラス企画を仕上げたことがすごくいい思い出です。3年生は残念ながらできませんでしたが1・2年でやったクラス企画はお客さんも入ってくれたし大満足でした。他クラスの企画も工夫満点で、感心するものがたくさんあって面白いし、勉強にもなりました。

茨城高校を選んだのは、進学実績が素晴らしいのと学校の歴史などに魅力を感じました。江戸時代の藩校の流れを汲んでいるのも純粋にかっこいいと思います。自分は特に一貫生とか高入生とかの区別を感じたことはなく、みんな付き合えばいい人ばかりです。部活動や学校行事を通じて接点はあるので気にしないでいいとも思います。生徒と先生の関係がすごく良くて、毎日楽しく学校生活が送れます。生徒は、趣味や得意なことがたくさんあり、お互いに切磋琢磨できます。ここで仲良くなった友人は間違いなく一生の友人です。1年生の12科目履修など初めは驚きましたが、ついていけばいいことがあるんだと後から分かります。自分の考えの甘さを気づかせてくれるところです。

入学後はまず目標である英語力を磨きたいと思います。教養学部は、英語教育に力を入れていて、留学なども推奨しています。また、国際関係学・言語学・外国文化学など文学部・社会学部・外国語学部と一緒にあったような学部です。約3分の1の授業は英語で行われ、ディスカッションなども演習できるので積極的に取り組みたいと思います。卒業後はまだはっきりとはしていませんが、語学力を生かせる仕事につきたいなどは考えています。